

「四国の一次産品に関するアンケート」調査結果について

[本調査のねらい]

四国には、都道府県別産出額が全国トップクラスの一次産品が数多くあり、また、“なると金時”など地域名を冠したブランド産品等も各地にあります。

四国経済連合会では、こうした四国を代表する一次産品の全国的な認知度や、四国の一次産品に対するイメージ等を調べることにより、四国の一次産品のブランド化等につなげてゆくことを目的として本調査を実施しました。その結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

[調査対象とした一次産品]

本調査では、下表記載の野菜（14 品目）、果物（12 品目）、水産物（10 品目）の合計 36 品目について、認知度・食体験度を調査した。

分類	都道府県別産出額シェア全国トップクラスの産品 (24 品目)		地域名を冠したブランド産品等 (12 品目)	
	全国順位	全国 シェア		
野菜 [14 品目]	徳島産のカリフラワー	1 位	15.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なると金時（徳島）</li> <li>・香川県産の金時にんじん（香川）</li> <li>・徳谷トマト（高知）</li> </ul>
	徳島産のれんこん	2 位	17.5%	
	徳島産の生しいたけ	2 位	8.2%	
	徳島産のにんじん	3 位	12.3%	
	香川産のにんにく	2 位	4.3%	
	香川産のレタス	4 位	7.0%	
	高知産のみょうが	1 位	70.1%	
	高知産のししとう	1 位	52.0%	
	高知産のしょうが	1 位	35.0%	
	高知産のにら	1 位	22.8%	
	高知産のなす	1 位	12.0%	
果物 (果樹) [12 品目]	徳島産のすだち	1 位	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆島のオリーブ（香川）</li> <li>・中山栗（愛媛）</li> <li>・土佐文旦（高知）</li> <li>・高知県産の新高梨（高知）</li> </ul>
	愛媛産のいよかん	1 位	82.1%	
	愛媛産の清見（清見タンゴール）	1 位	44.2%	
	愛媛産のポンカン	1 位	26.8%	
	愛媛産のキウイフルーツ	1 位	24.2%	
	愛媛産のみかん	3 位	12.6%	
	高知産のゆず	1 位	46.5%	
	高知産の小夏 （ニューサマーオレンジ）	2 位	31.8%	
水産物 [10 品目]	香川産のぶり（はまち）	6 位	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴門わかめ（徳島）</li> <li>・鳴門鯛（徳島）</li> <li>・岬あじ・岬さば（愛媛）</li> <li>・四万十川の青のり（高知）</li> <li>・室戸海洋深層水（高知）</li> </ul>
	愛媛産のまだい	1 位	47.4%	
	愛媛産のあなご	1 位	18.0%	
	愛媛産のぶり	2 位	18.1%	
	高知産のかつお	2 位	14.2%	

出所：中四国農政局 平成 18 年農業産出額、平成 17 年漁業生産額、平成 17 年林業産出額  
(注) 海面養殖の産出額

## [アンケート実施要領]

(1)調査方法：四経連が運営するホームページ「ウェルカム！四国」を通じたインターネットによるアンケート調査  
[協賛：四国旅客鉄道株]

(2)調査期間：平成 20 年 1 月 31 日～2 月 27 日

(3)有効回答：5,006 名（うち四国外：4,693 名、四国内：313 名）

(4)回答者の属性

**性別** 男性：47.4%、女性：52.6%

**結婚の有無** 既婚：65.2%、独身：34.8%

**年代別構成比**(下段は H17 年の国勢調査結果) (%)

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
3.6	21.1	32.9	22.1	14.6	4.8	0.8
18.9	12.2	14.5	12.4	14.9	12.5	14.3

**地域別構成比**(下段は H17 年の国勢調査結果) (%)

北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
4.1	7.3	32.7	2.2	12.1	19.0	7.7	6.3	8.6
4.4	9.4	34.8	2.4	11.8	16.4	6.1	3.1	11.6

本件についてのお問い合わせ先  
四国経済連合会 調査部 部長 田頭  
調査役 山崎  
TEL 087-851-6032

## [調査結果の概要]

### (四国外住民の認知度)

- ・四国の代表的な一次産品では、野菜や水産物と比べ、愛媛産の柑橘類を中心とした果物(果樹)の認知度が高い。
- ・種類別に見ると野菜の認知度では、「なると金時」が79.1%と高く、次いで「香川産の金時にんじん」<sub>1</sub>、「高知産のなす」となっている。
- ・果物(果樹)の認知度は、「愛媛産のみかん」95.5%、「愛媛産のいよかん」93.7%、「愛媛産のポンカン」86.5%などが非常に高い。
- ・水産物では、「高知産のかつお」が80.6%と高く、次いで「室戸海洋深層水」<sub>1</sub>、「四万十川の青のり」<sub>1</sub>、「鳴門わかめ」の認知度が高い。

### (京阪神と首都圏での認知度比較)

- ・ほとんどの品目で京阪神での認知度が高く、特に「鳴門わかめ」<sub>1</sub>、「なると金時」など、徳島県の商品は、京阪神での認知度がかなり高い。  
一方、「高知産の小夏」<sub>1</sub>、「愛媛産のみかん」<sub>1</sub>、「愛媛産のポンカン」など柑橘類は、両圏域での認知度の差が小さい。

### (四国外住民の食体験度)

- ・「食べたことがある」という食体験度の高い産品は、愛媛産の柑橘類や「高知産のかつお」であり、いずれも認知度の特に高い産品である。

### (四国の一次産品に対するイメージ)

- ・四国には、『果物(果樹)』<sub>1</sub>、『水産物』<sub>1</sub>、『野菜』それぞれに、おいしいものがたくさんあると思っている人がいずれも8~9割を占めており、特に果物(果樹)においしいものがたくさんあるとの評価が高い。

### (生鮮食品購入の際の産地の重視度)

- ・外国産ではなく国産を重視する傾向が強い。また、国内のどこの産地であるかも重視されており、その理由として「安全・安心なもの」<sub>1</sub>、「おいしいもの」への志向がうかがえる。

### (今回のアンケート結果からの示唆)

- ・四国の一次産品には、高い認知度を有する品目が少なくない。また、四国には、果物(柑橘類)を中心においしい一次産品がたくさんあるとの地域イメージが全国的にかなり形成されている。
- ・こうした一次産品を四国の強みとしてゆくためには、四国各県で認知度の高い産品が異なっている特徴を活かし、4県の産品を合わせ四国として多彩な食材を揃え、相乗効果を発揮することが有効である。このため、4県共同による販促活動やアンテナショップの設置など、四国一体となった取り組みが重要である。
- ・また、「安全・安心」や「おいしさ」をアピールした一次産品を核にして、高付加価値製品の開発、観光とのタイアップなど、農商工連携を進めることも必要である。

[調査結果]

1. 四国の代表的な一次産品の認知度

四国外住民の認知度は、「愛媛産のみかん」が95.5%と最も高く、次いで「愛媛産のいよかん」93.7%、「愛媛産のポンカン」86.5%となっており、愛媛産の柑橘類が非常に高い認知度を誇っている。

次いで、「高知産のかつお」80.6%、「なると金時」79.1%などが上位にきている。

総じてみれば、四国の一次産品では、野菜や水産物に比べ、果物（果樹）の認知度が高い。

四国の代表的な一次産品の認知度（上位20品目）（％）

品目 (注)ゴシックは果物(果樹)	四国外住民	(参考) 四国住民
愛媛産のみかん	95.5	99.0
愛媛産のいよかん	93.7	98.1
愛媛産のポンカン	86.5	94.6
高知産のかつお	80.6	98.0
なると金時	79.1	98.4
小豆島のオリーブ	70.2	95.2
徳島産のすだち	69.8	94.6
土佐文旦	68.7	96.8
室戸海洋深層水	65.8	96.5
四万十川の青のり	64.9	96.5
鳴門わかめ	64.6	89.1
高知産のゆず	62.3	89.3
高知産の新高梨	49.2	78.5
鳴門鯛	48.6	71.0
愛媛産の清見 (清見タンゴール)	42.6	66.6
香川産の金時にんじん	40.9	69.3
高知産のなす	40.3	64.1
愛媛産のキウイフルーツ	38.8	58.2
高知産のしょうが	37.5	66.8
愛媛産のまだい	36.3	77.2

## 1 (1) . 四国の代表的な野菜の認知度

四国外住民の四国の野菜に対する認知度は、「なると金時」が79.1%と高く、次いで、「香川産の金時にんじん」40.9%、「高知産のなす」40.3%、「高知産のしょうが」37.5%などとなっている。

このうち、「なると金時」は京阪神での認知度が96.2%と非常に高い。

四国の代表的な野菜の認知度 ( % )

品 目	四国外			(参考) 四国住民
	住民	京阪神	首都圏	
なると金時	79.1	96.2	73.6	98.4
香川産の金時にんじん	40.9	58.8	35.4	69.3
高知産のなす	40.3	45.6	41.3	64.1
高知産のしょうが	37.5	44.9	36.0	66.8
香川産のレタス	34.7	48.7	32.0	64.4
高知産のみょうが	34.1	38.4	35.8	62.4
高知産のししとう	33.3	43.7	31.7	55.0
高知産のにら	32.9	45.2	26.9	64.5
徳島産の生しいたけ	29.4	45.8	27.5	52.7
徳島産のれんこん	29.1	44.9	24.9	54.5
徳島産のにんじん	25.4	39.7	23.3	44.9
徳谷トマト	25.1	32.7	26.1	47.3
徳島産のカリフラワー	23.2	31.7	21.8	36.0
香川産のにんにく	21.7	27.2	22.0	44.5

## 1 - ( 2 ) . 四国の代表的な果物（果樹）の認知度

四国外住民の果物（果樹）に対する認知度は、「愛媛産のみかん」が95.5%、「愛媛産のいよかん」93.7%、「愛媛産のポンカン」86.5%となっており、愛媛産の柑橘類が京阪神、首都圏を問わず非常に高い認知度を誇っている。

次いで、「小豆島のオリーブ」70.2%、「徳島産のすだち」69.8%、「土佐文旦」68.7%、「高知産のゆず」62.3%なども認知度が高い。

四国の代表的な果物（果樹）の認知度 ( % )

品 目	四国外			( 参考 ) 四国住民
	住民	京阪神	首都圏	
愛媛産のみかん	95.5	96.4	96.3	99.0
愛媛産のいよかん	93.7	96.3	95.1	98.1
愛媛産のポンカン	86.5	88.5	88.2	94.6
小豆島のオリーブ	70.2	84.7	68.5	95.2
徳島産のすだち	69.8	85.4	66.1	94.6
土佐文旦	68.7	76.6	67.4	96.8
高知産のゆず	62.3	72.3	61.4	89.3
高知産の新高梨	49.2	49.7	49.3	78.5
愛媛産の清見 ( 清見タンゴール )	42.6	46.7	45.4	66.6
愛媛産のキウイフルーツ	38.8	41.8	39.7	58.2
高知産の小夏 ( ニューサマーオレンジ )	31.5	33.2	36.8	63.9
中山栗	19.1	22.8	18.7	58.5

1 - ( 3 ) . 四国の代表的な水産物の認知度

四国外住民の水産物に対する認知度は、「高知産のかつお」が 80.6%と高く、次いで「室戸海洋深層水」65.8%、「四万十川の青のり」64.9%、「鳴門わかめ」64.6%などとなっている。

四国の代表的な水産物の認知度 ( % )

品 目	四国外 住民			(参考) 四国住民
		京阪神	首都圏	
高知産のかつお	80.6	88.1	79.4	98.0
室戸海洋深層水	65.8	77.8	62.7	96.5
四万十川の青のり	64.9	76.4	61.3	96.5
鳴門わかめ	64.6	86.2	61.2	89.1
鳴門鯛	48.6	64.5	46.6	71.0
愛媛産のまだい	36.3	41.3	37.1	77.2
はな 岬さば・はな 岬あじ	33.4	38.9	34.5	65.1
香川産のぶり(はまち)	29.1	35.5	31.2	64.9
愛媛産のぶり	27.1	33.2	27.9	60.5
愛媛産のあなご	27.0	32.4	26.8	55.7

## 2. 京阪神と首都圏での認知度の違い

京阪神と首都圏の住民の認知度を比べてみると、一品目を除き全ての産品について京阪神の方が首都圏より認知度が高い。特に「鳴門わかめ」、「なると金時」など、徳島県の産品はその傾向が顕著である。

一方、「高知産の小夏」、「愛媛産のみかん」、「愛媛産のポンカン」など柑橘類は、京阪神と首都圏での認知度の差が総じて小さい。

京阪神と首都圏との認知度の差が大きい品目 ( % )

品目 (注)ゴシックは徳島産	四国外			
	住民	京阪神(A)	首都圏(B)	(A) - (B)
鳴門わかめ	64.6	86.2	61.2	25.0
香川産の金時にんじん	40.9	58.8	35.4	23.3
なると金時	79.1	96.2	73.6	22.5
徳島産のれんこん	29.1	44.9	24.9	19.9
徳島産のすだち	69.8	85.4	66.1	19.3
高知産のにら	32.9	45.2	26.9	18.3
徳島産の生しいたけ	29.4	45.8	27.5	18.3
鳴門鯛	48.6	64.5	46.6	18.0

京阪神と首都圏との認知度の差が小さい品目 ( % )

品目 (注)ゴシックは柑橘類	四国外			
	住民	京阪神(A)	首都圏(B)	(A) - (B)
高知産の小夏 (ニューサマーオレンジ)	31.5	33.2	36.8	-3.6
愛媛産のみかん	95.5	96.4	96.3	0.1
愛媛産のポンカン	86.5	88.5	88.2	0.4
高知産の新高梨	49.2	49.7	49.3	0.5
愛媛産のいよかん	93.7	96.3	95.1	1.1
愛媛産の清見 (清見タンゴール)	42.6	46.7	45.4	1.3
愛媛産のキウイフルーツ	38.8	41.8	39.7	2.1
高知産のみょうが	34.1	38.4	35.8	2.6

### 3. 四国の一次産品の食体験度

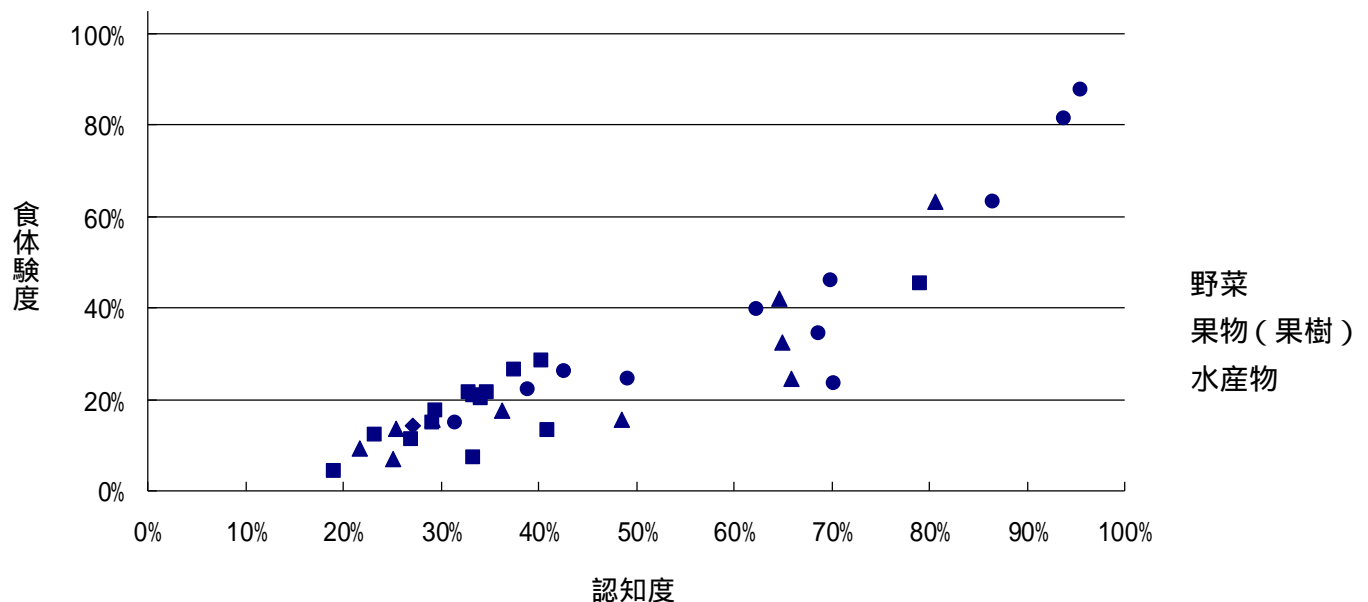
(注)「食体験度」とは、その一次産品を「食べたことがある」と回答した人の割合。

認知度が高い産品ほど食体験度も高くなる傾向がみられる。四国外住民の食体験度の高い産品は、「愛媛産のみかん」87.9%、「愛媛産のいよかん」81.4%、「愛媛産のポンカン」63.2%、「高知産のかつお」63.2%などであり、いずれも認知度の特に高い品目である。

四国外住民の食体験度が高い四国の一次産品(30%以上) ( % )

品目	食体験度	認知度		(参考) 認知度
		京阪神	首都圏	
愛媛産のみかん	87.9	92.0	90.5	95.5
愛媛産のいよかん	81.4	87.4	84.5	93.7
愛媛産のポンカン	63.2	68.9	66.1	86.5
高知産のかつお	63.2	73.9	63.4	80.6
徳島産のすだち	46.0	71.0	44.1	69.8
なると金時	45.5	77.6	36.1	79.1
鳴門わかめ	42.0	68.3	38.5	64.6
高知産のゆず	39.7	54.5	41.0	62.3
土佐文旦	34.5	43.1	35.2	68.7
四万十川の青のり	32.4	46.6	30.1	64.9

四国外住民の認知度と食体験度の関係



#### 4. 一次産品の全国シェアと認知度の関係

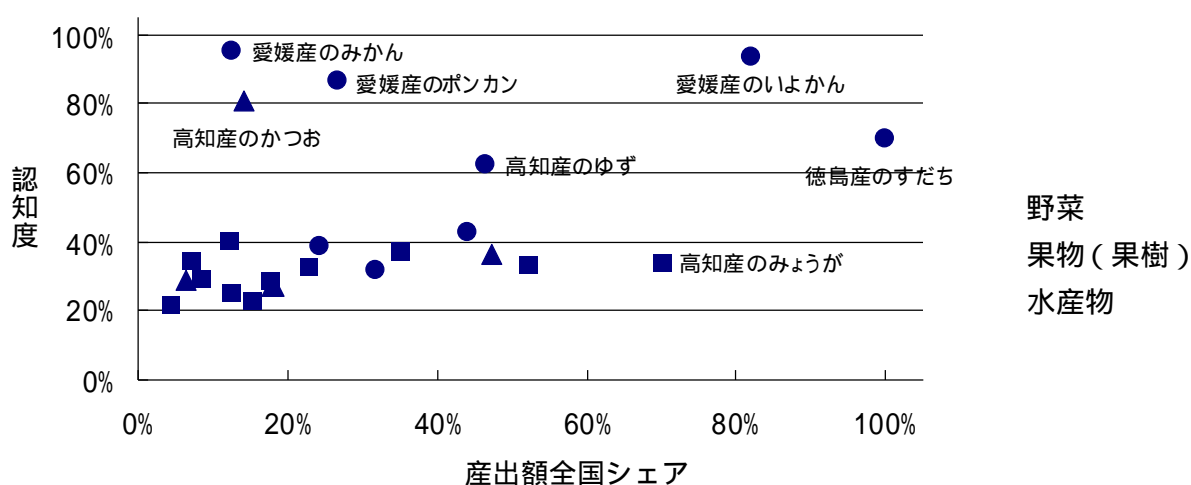
一次産品の全国シェアと四国外住民の認知度との関係を調べたところ、両者の間に明確な相関関係はみられない。

例えば、「徳島産のすだち」や「愛媛産のいよかん」は、全国シェアが極めて高く、認知度も高い。

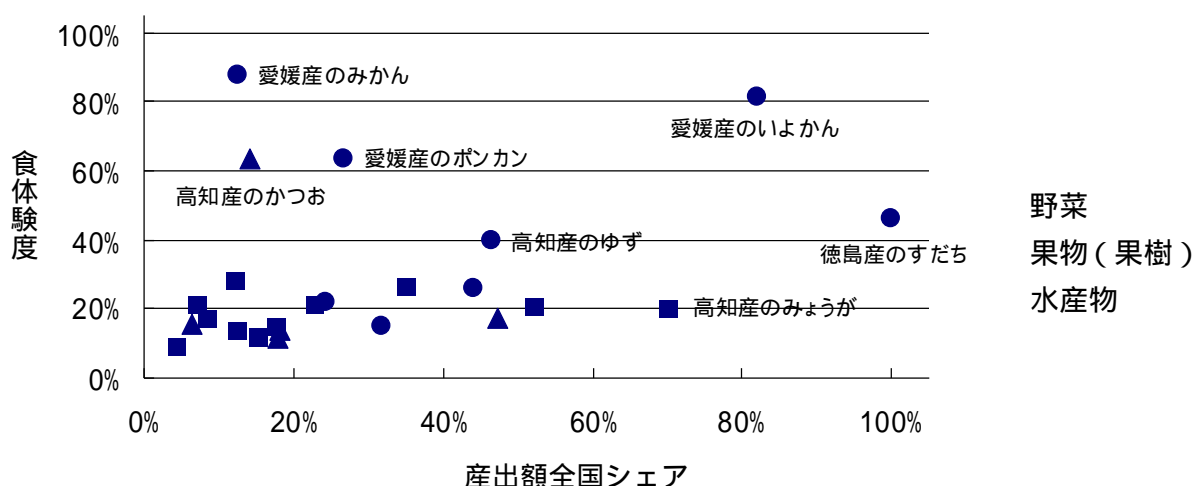
一方、「愛媛産のみかん」、「愛媛産のポンカン」、「高知産のかつお」の全国シェアは今回調査対象となった野菜類などと変わらないが、認知度はいずれも80%超と非常に高く、地域ブランドの形成がうかがわれる。

同様に、全国シェアと食体験度の間にも明確な相関関係はみられない。

四国の一次産品の産出額全国シェアと四国外住民の認知度の関係



(参考) 四国の一次産品の産出額全国シェアと四国外住民の食体験度の関係



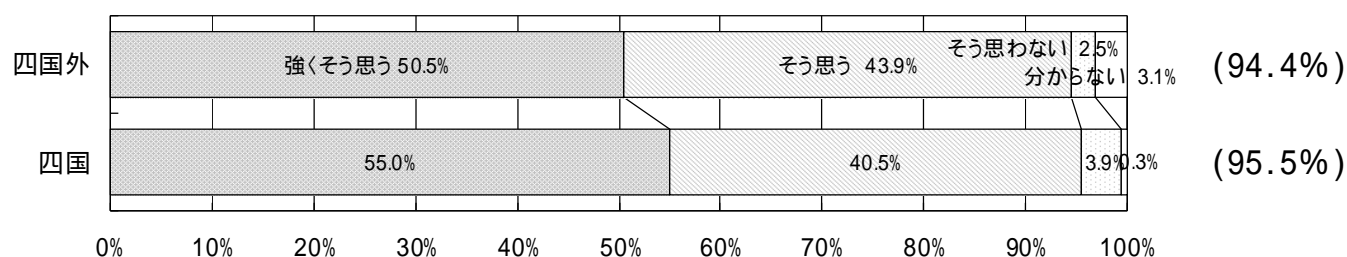
## 5. 四国の一次産品に対するイメージ

四国の一次産品に対するイメージを尋ねたところ、四国には「おいしい『果物（果樹）』がたくさんある」、「おいしい『水産物』がたくさんある」、「おいしい『野菜』がたくさんある」のそれぞれについて、「強くそう思う」、「そう思う」を合わせた回答が、いずれも8~9割を占めており、四国の一次産品への評価は総じて高い。

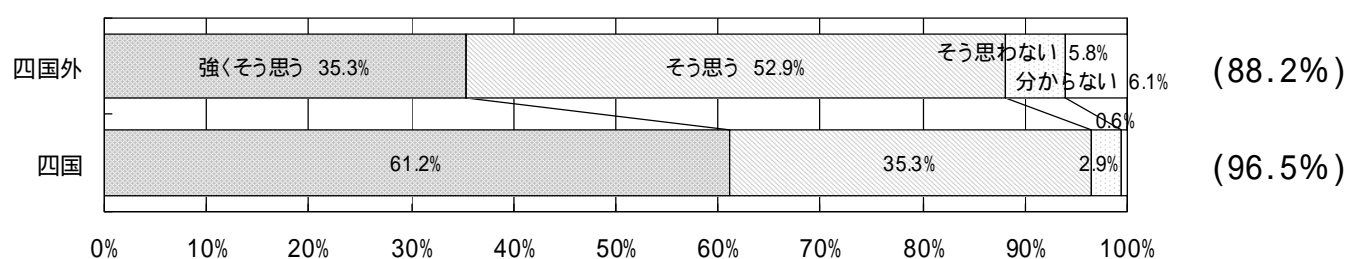
ただ、「強くそう思う」という評価に限って四国外住民と四国住民を比較してみると、「果物」については「強くそう思う」が共に50%を超え、認識が共通しているが、「水産物」と「野菜」については、四国住民に比べ、四国外住民の評価はやや低く、全国の消費者へのPRや四国の一次産品のブランド化が必ずしも十分でない様子が窺われる。

### 四国にはおいしい「果物（果樹）」がたくさんある。

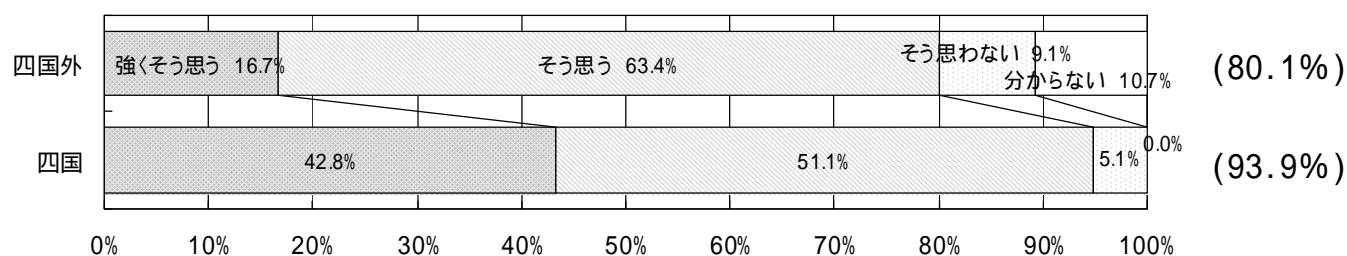
(注)右端のカッコは、「強くそう思う」「そう思う」の合計



### 四国にはおいしい「水産物」がたくさんある。

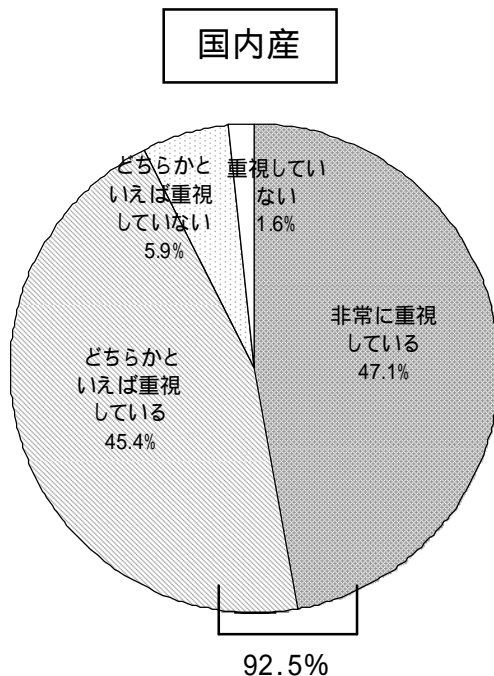


### 四国にはおいしい「野菜」がたくさんある。



## 6. 生鮮食品購入の際に国内産を重視するか

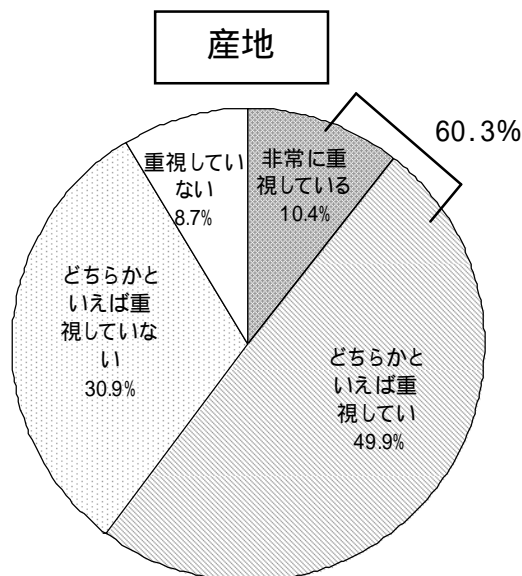
生鮮食品購入の際に、外国産よりも国内産であることをどのくらい重視するかについて尋ねたところ、約半数が「非常に重視している」と答えており、「どちらかといえば重視している」45.4%と合わせ、国内産を重視する人が圧倒的に多い。



## 7. 国内のどこの産地かを重視するか

[前問で、国内産を「非常に重視している」「どちらかという重視している」と回答した方を対象]

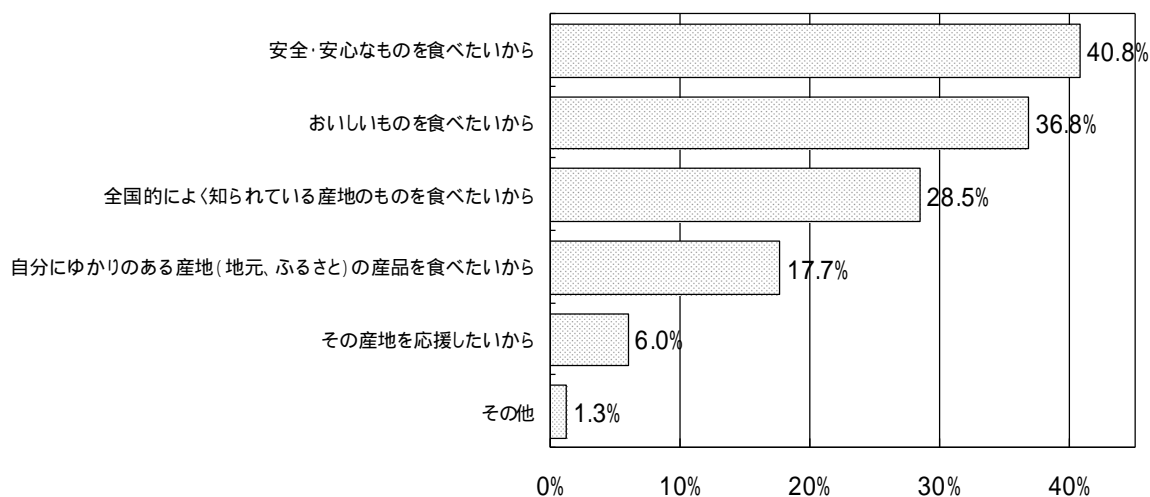
国内産の生鮮食品を購入する際に、国内のどこの産地かをどのくらい重視するかについて尋ねたところ、「非常に重視している」10.4%、「どちらかといえば重視している」49.9%と合わせ、重視する人が約60%を占めており、産地に対してもかなり関心が持たれている。



## 8 . 国内のどこの産地かを重視する理由 (2つ以内で回答)

[前問で、国内のどこの産地であるかを、「非常に重視している」「どちらかという重視している」と回答した方を対象]

国内のどこの産地かを重視する理由としては、「安全・安心なものを食べたいから」が40.8%と最も高く、次いで「おいしいものを食べたいから」36.8%、「全国的によく知られている産地のものを食べたいから」28.5%となっている。



以上